

1 校長あいさつ

- ・ご参加ありがとうございます。
- ・感染症はいくつか出ているが、拡大には至っていない。
- ・子どもたちの活動をみていただき、ご意見をいただきたい。
- ・令和5年4月1日より高津支援学校となる。(10月14日 県条例可決)
校門の校名板が替わる。
「高津養護学校」の信号について、町会にも今後、詳細相談をしたい。

2 伊藤会長あいさつ

- ・校名について、学校種は「特別支援学校」だが、「特別」が抜けてよかった。
「特別」は障害があることを表していると言われている。
- ・校内で感染が広がっていないことはとても大切なことで、「学校でクラスター」との報道がされるが、感染症対策が効を奏している証拠である。

3 第2回たかつコミュニティスクール 書面開催報告

資料参照

まなび応援部会の開催については検討中である

4 授業視察 (50分)

5 学校評価部会 (中間評価)

資料3.4参照

「防災のひろば」報告

トヨタモビリティかながわは県内で給電デモンストレーション等の実績がある。
充電器等の備えがあれば、有事の際は非常に助かる(程塚氏)
今後3年間アンケート結果をもとに充実させていきたい。VR体験等も取り入れたい。

6 意見聴取・学校運営の承認

学校運営については承認

(北村氏)

- ・評価方法の工夫をしてほしい。「できた」「途中までできた」「できなかった」というわかりやすい評価方法がよい。
- ・コロナ対策や体育館工事等で、教育活動に支障はないか?
→近隣の施設の利用を行い、教育活動を展開できている

(竹内氏)

- ・社協のメンバーは12月に改選。メンバーの変更があるが、竹内、程塚両氏は継続。
新規メンバーにも高津養護との関わりをもってほしいと思っている。

(程塚氏)

- ・社協のメンバーの入れ替えで忙しいが、できる限り協力したい。
- ・耐震車は人気があり、1年先も予約がとれない状況があるが、聞いてみるとよい。
地域とも一緒に防災訓練ができると良い。

(鷹背氏)

・研究の成果物とは何か？

→研究テーマに沿って各グループで作成した成果物を掲載可能な形でHPにのせたいと考えている。

・予防的ケース会とは？

→年度初めと終わりを基本として、各学部・分教室で実施している。大きな問題に発展しないように、未然防止を図るために課題の共有をしている。また専門職を活用した学習会を実施し、支援方法の共有を図っている。

・校内に入って気軽に授業見学ができないか？

→県からの通知に基づいての対応である。必要があれば申し出ていただき、相談の上対応することはできる。

(伊藤氏)

・特別活動の再開と工夫は良い。地域との活動があり、すばらしい。地域の皆様の協力があった実践できているものが多く、良い関係を作れている。これからは個別の時代である。授業視察の際も「個」に対応をしていて良かった。地域の小中学校をけん引する学校であってほしい。

学校運営について 承認

8 事務連絡 ・次回2月24日(金)午後の予定